

2024 年度事業計画書

(2024 年 5 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日まで)

一般社団法人つくろい東京ファンド

当法人の目的を達成するために、関連諸団体・個人と連携をとりつつ、次のとおり事業を実施する。

1. 個室シェルターの運営と路上生活者支援活動

- 1) 各生活困窮者支援団体と連携をしながら、個室シェルター「つくろいハウス」(中野区)等の個室シェルター及びハウジングファースト住宅の運営を続ける。
- 2) 必要に応じて、個室シェルター入居者及び退所者への安否確認、福祉・住宅等の相談及び食料支援を実施し、他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら入居者・退所者が安定した生活をおくれるための支援をおこなう。
- 3) 認定 NPO 法人ビッグイシュー基金や中野共立病院「なんでも街頭相談会」実行委員会、中野区社会福祉協議会等と連携し、路上生活者へのアウトリーチを実施する。
- 4) NPO 法人 TENOHASI と連携し、路上生活者を含む生活困窮者向けの医療相談活動を継続する。

2. 外国人困窮者への支援活動

NPO 法人北関東医療相談会などの外国人支援団体と連携して、生活に困窮した外国人のシェルターへの受け入れや家賃支援、食糧支援、日本語教室など生活全般に関わる支援を進める。

3. 「カフェ潮の路」及び「潮路書房」の運営

ホームレス経験者の居場所づくり、仕事づくり及び地域住民との交流の場をつくるため、「カフェ潮の路」、古書店「潮路書房」を運営する。また、イベント実施等を通して、「カフェ潮の路」を外国人困窮者の居場所づくりにも活用する。

4. 他団体と連携した個室シェルターの運営や生活支援

NPO 法人 TENOHASI、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金、「LGBT のハウジングファーストを考える会・東京」、生活困窮者支援りぼん、中野共立病院「なんでも街頭相談会」実行委員会、一般社団法人反貧困ネットワーク等の団体や個人と連携し、生活困窮者への相談支援や生活・住宅等の支援を実施する。

5. 東京アンブレラ基金と「せかいビバーク」の運営

東京アンブレラ基金は事務局体制の整備を進め、広報及び財政基盤を強化する。「せかいビバーク」は NPO 法人トイミッケと連携し、ニーズを見定めながら永続的に実施できる体制を整備する。広域での展開も視野に入れて、関連団体との協議を進める。

6. 「つながる電話プロジェクト」

「つながる電話プロジェクト」はスマートフォン本体、通信 SIM、アプリをパッケージでお渡しする現在のシステムは見直し、アプリのみを幅広く提供する仕組みづくりを進めていく。

7. 生活保護支援申請システム「フミダン」の運営及び扶養照会問題への取り組み

「フミダン」は、利便性の向上を図るとともに、オンライン申請の他地域展開も視野に入れて、サイトの再構築をおこなう。

扶養照会問題については、生活保護問題対策全国会議などと連携し、運用改善の徹底、ひいては照会の完全撤廃に向けてソーシャルアクションを実施する。

8. 広報

ウェブサイトや SNS による発信を積極的におこない、YouTube チャンネルでの配信イベントも 1～2 ヶ月に 1 度のペースで開催する。

9. ファンドレイジング

寄付金や助成金など、事業資金を調達する体制を強化する。